

たておう だより Vol.12

2023.10月号

一般社団法人館林市邑楽郡医師会 在宅医療介護連携 相談センターたておう

相談センターたておうは
医療機関や介護関係者の連携を
推進するための専門職専用の相談窓口です

たておう合同学習会

第20回 テーマ：「支援現場で本人、生活を守る視点」 ～暮らしや家計を支える連携～

日時：令和5年5月16日（火）13時30分～15時

場所：邑楽町役場 大会議室

講師：一般社団法人 認知症予防&サポート研究所アングル
代表理事 河村 俊一 様

高齢者の虐待は、身体的・心理的な虐待をイメージする傾向があり、統計的にも身体的虐待がもっとも多い。しかし、どの日常生活の自立度にも見られるのが、経済的虐待であり、見過ごされやすいと仰っていました。高齢者の虐待は、どんな家庭にも起こる可能性のある身近な問題であり、辛くても不満があっても、声に出して訴えることのできない高齢者がいる。身近な方がサインに早く気づき、行政や地域包括支援センター、またその時の状況によっては、警察に連携することで、深刻化を防ぐことができるのではないかと感じました。



第21回 テーマ：「在宅における精神疾患のあるかたへの支援」 ～訪問看護での患者・家族への看護～

日時：令和5年7月18日（火）13時30分～15時

場所：邑楽町役場 大会議室

講師：株式会社ファーストナース精神科訪問看護特化型
訪問看護ステーションあやめ館林相談員 森下 亮 様

今回は、86名と多くの方にご参加いただきました。自立支援医療制度等を利用し、自宅や施設で療養している方を対象に訪問看護サービスを提供することで、より安心した暮らしができるようになることが、事例を通して理解することができました。そして、コミュニケーションの重要性や細かいアプ

ローチ方法も教えていただきました。「具体的な事例を上げていただき参考になった」「精神科看護に特化した事業所があることで、とても心強い、今後相談していきたい」と感想が寄せられました。

第22回 テーマ：「認知症患者・家族への支援方法」 ～コミュニケーション技法～

日時：令和5年9月12日（火）13時30分～15時

場所：邑楽町役場 大会議室

講師：社会福祉法人瑞穂会 地域密着型施設

ふぁみいゆ 東館 認知症看護認定看護師小野 道子 様
コミュニケーション技法について動画や実践事例を交えながらお話しいただきました。

海外発祥の認知症ケア・コミュニケーション技法として①パーソンセンタードケア②ユマニチュード③バリデーション④カンフォータブルケアなど初めて耳にするような言葉もありましたが、とても分かりやすい説明でよく理解できました。今回学んだ知識をぜひ実践に活かしてほしいと思います。



第44回

たておう研修会

テーマ：「ACPを考える」

～スピリチュアルケアの視点から～



令和5年6月15日（木）午後7時から公立館林高等看護学院4階講堂にて、メディア等にも多く出演している、**非営利一般社団法人 大慈学苑 代表 玉置 妙憂 先生**をお招きし、台湾や日本で学ばれたスピリチュアルケアについて講演いただきました。答えのない、見ている人・聞いている人もダメージを受けてしまうスピリチュアルペインに対してのスピリチュアルケアとは縦軸と横軸のケアである。在宅療養の現場には介護保険を始めに、訪問診療・訪問介護など色々なサービスを使える横軸のケアは充実しているが、本人を支える縦軸のケアが足りていないため、今後もっと充実していきたい。そして、医療・介護でできる（本人を支える縦軸のケア）スピリチュアルケアは、単純ではあるが「話しを聞くこと」と教えていただきました。多職種101名と多くの方々にご参加いただきました。



（もって）

第6回 MOTTEアドバイザー養成講習会

より多くの地域の方々、MOTTE（もって）を活用していただけることを目的に、MOTTEを記入するサポートができるアドバイザー養成講習会を、令和5年7月18日（土）9時～15時（1日コース）で実施しました。今回は、公立館林厚生病院の多職種（看護師・放射線技師・理学療法士・MSW）20名の方が新たにMOTTEアドバイザーとして認定となりました。MOTTEアドバイザー総数が107名となり、今後多くの場面でご活躍していただきたいと思っております。



11/30

11月30日は、人生会議の日です

「人生会議」とは、アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の愛称です。人生会議は、自分の大切にしていることや望み、どのような医療やケアを望んでいるかについて、自ら考え信頼する人たちと話し合うことです。人生会議を重ねることで、自分の想いを話せなくなった「もしものとき」にも、大切な人の心の負担を軽くすることができます。

相談センターたておうでは、館林・邑楽地域版エンディングノート「MOTTE：もしものときに想いをつたえる手帳」を無料配布しています。また、出前配布も行っていますので、興味・関心のある方は、下記までお問い合わせください。※全ての人が人生会議をしなくてはならないというわけではありません。



8/25

（金）

令和5年度 館林・邑楽地域退院調整 ルール運用に係る意見交換会

平成29年から運用開始となった、退院調整ルールですが、毎年開催されていた意見交換会がコロナ禍で中止となり、今年は4年ぶりに対面によるグループディスカッションを実施することができました。館林・邑楽地域の病院関係者・ケアマネジャー代表・各市町・包括支援センターの56名が参加し、活発な意見交換ができた有意義な会となりました。

たておう合同学習会終了後の「多職種からのお知らせ」コーナーが大変好評となっております。皆さまに知っていただきたい情報やトピックス、またはご自身の施設・事業所のイベントのPRなど・・・短い時間ですが、ご活用ください。ご不明な点等ございましたら、下記までお問い合わせ下さい。



お問い合わせ

在宅医療介護連携相談センターたておう 〒374-0043 群馬県館林市苗木町2497-17
TEL:0276-55-0118 FAX:0276-73-0215 ✉:tateou-sudan@mail.gunma.med.or.jp